

鑄鉄に関する磨耗機構の検討. 小川喜代一…pp. 40~46

共晶黒鉛鑄鉄に関する研究 (I) (II) (IV) 小川喜代一, 外…pp. 47~69

鑄物砂用粘結剤の研究. 牧口利貞…pp. 75~78

Alnico V系磁石合金に対する Nb, Zr, Ti の効果. 山川和郎…pp. 79~82

東北大学研究報告 8 (1956) 3

Influence of Arsenic, on the Analysis of Iron and Steel (I) (I)

H. Goto and S. Watanabe. p. (157), (223)

The Density, Magnetic Properties, Young's Modulus and ΔE -Effect and Their Change Due to Quenching in Ferromagnetic Iron-Aluminium Alloys (I) M. Yamamoto and S. Taniguchi. pp. 193~

Bulletin of the Tokyo Institute of Technology (1956) 2

On Toughness and Microstructure of Heat-treated Tool Steel. M. Tanaka. 11~20

水曜会誌 13 (1956) 2

大東亜戦争中における土窯式海綿鉄製造法 (ただし角窯および登窯による) に関する調査報告 (VIII)

沢村 宏. pp. 79~82

法隆寺古代釘の冶金学的考察 (I) 西村秀雄, 外…pp. 91~94

オーステナイト結晶粒度調整 (微細化) に関する研究 (II) 高尾善一郎, 外…pp. 107~109

生産研究 8 (1956) 5

鑄造応力発生過程における境界温度の推定. 千々岩健児…p. 18

鉄鋳石の被還元性を表示する試み. 原 善四郎…p. 22

(609 頁よりつづく)

1. これまで操業中の溶鋳炉の煉瓦の状態を知ることが不可能であったが, これを知ることが理論上可能となった.

2. メッキの事前処理として必要な洗滌は清浄性を定量的に測定することは不可能とされていたが, 定量的でしかも精度の高い洗滌ができる可能性がある.

3. クロム酸処理の際のクロム析出挙動や析出したクロムと耐食性との関係を知ることができる.

4. 罐詰の錫についていろいろな条件下で罐内の錫の

—会誌刊行誌—

富士製鉄技報 5 (1956) 2

鋳鉄におよぼす Zn の影響について. 青木猪三雄…pp. 117~122

溶鋳炉操業における鋳滓の脱硫について. 高木 直外…pp. 123~129

溶鋳におけるコークス処理効果. 千田昭夫…pp. 130~139

平炉における低純度酸素の利用について. 前田正義外…pp. 140~143

コークス炉の加熱作業について. 西尾 醇外…pp. 144~160

室蘭製鉄所自製クロム・アグネシアレンガの推移. 堀田一夫外…161~171

X線厚み計用絶縁油の劣化原因とその対策. 内田 弘外…172~177

熱精算計算図表について. 福田昭一…pp. 186~192

住友金属 8 (1956) 2

鑄鉄中の黒鉛組織とその球状化との関連性について. 益子美明…pp. 3~14

極軟鋼帯鋼のガス溶接性について (3/4in 電線管による酸素・アセチレン溶接性試験結果) 下川義雄, 外…pp. 15~24

軸受用高炭素クロム鋼鋼管の圧壊試験. 三好栄次, 外…pp. 25~35

三菱造船 18 (1956)

各種隅肉溶接部の疲強度. 小松喜治郎…pp. 24~28

耐熱鋼の溶接. 柿田達郎…pp. 29~34

日立評論 38 (1956) 5

耐衝撃工具 Si-Cr-W 鋼の確性試験, 小柴定雄…pp. 95~98.

ベアリングエンジニア 5 (1956) 1

軸受鋼と保持器材料の磨耗試験 (I) 室 博…pp. 8~13

溶出挙動が調査できる.

5. メッキ浴中の成分を調べ, それが品質に及ぼす影響を知ることができる.

6. 鋼材の砂疵の原因となる鋼塊中の外来介在物の生成過程と鋼塊内における分布とを知り, その防止および軽減をはかることができる.

など品質向上に画期的な利用が考えられるので, 新たに R.I 専用の実験室を設けて積極的に研究を進めることになった.